

- (1) 「よーし、オラが行ってノリ子さんをさがして来てやるべ。ペンよいつしよにおいで」「クンクンクン」トン子はペンをつれてかけ出しました。
- (2) 「さてよ、よく考えてみたらノリ子さんがすといつても東京はひろいだ。ドコへいったらいいかわからねーでねーか。よーしそれならあの公園へいこう」
- (3) 「ここにたしか、いつかのカメラの事件のとき仲よしになった宿なしの子供たちがいるハズだ。おーいケンジ、松子、正六、出てこいよー」
- (4) 「あッ、デブねえちゃんよく来てくれたねー。何か用なの」「うん、お前たちにきいたらわかるかもしれないと思って来ただ。これこれだが家出した少女はドコへいくだべ」「うん、それなら」
- (5) 「家出の女の人センモンのやつがこのアパートにいるよ。けれどわるいやつだから気をつけな」「ここにかい。ごくろうごくろう、オラちよつときいてみべー」
- (6) 「こんつわ、ここに家出人センモンに仕事するジョージって人さいるかね」「それはオレだよ。まアおはいり」「はいってもいいかね。ごめんくらせー」
- (7) 「ここがオレのヘヤだ。ねえさんお前もスターになりたくて家出して来たかね」「いんや、オレスターだよ」「へー、まアいいや中へおはいり」
- (8) 中へはいるとジョージのたいどはがらりとかわり「やいッ、カネはドコにしまつてある、早く出せ」「アンレ何するだよ、オラ、ノリ子さんがしに来ただよ」
- (9) 外では、心配してペンとケンタがアパートの廊下まではいつて来ました。「あッ、中でガタガタ音がしているぞ。あッ」ドターン、バターン。
- (10) バイーン。「タハッ、ドアがはずれたー。姉ちゃんやられたかなー」ところがあべこべで、トン子はジョージをのして
- (11) 「ケンタ、この男ノリ子さんのこと知らないといっているだ。オラをおどかした悪いやつだがどうすべー」「タハハハハ、か、かんべんして下さいよ」さて…